

【表4-①】 学校行事 発表する機会

幼稚園

- *発表会（音楽発表会・生活発表会・おゆうぎ会）14件
- *祖父母保育参観9件
- *運動会8件
- *お招き会や老人ホーム訪問8件
- *交流会3件
- *保育実践2件
- *地域のデイサービス1件
- *体育館活動1件
- *夏祭り1件
- *お祭りごっこ1件
- *お楽しみ会1件
- *幼少連携・小学校合同行事「宮良長包音楽集会」1件

小学校

- *運動会10件：「安里屋ユンタ」をエイサー（大太鼓、小太鼓）。「安里屋ユンタ」を鼓笛隊で発表。「安里屋ユンタ」を踊る。「汗水節」をエイサー。パーランクーでエイサー「安里屋ユンタ」を演奏。
- *学芸会7件：三線を演奏等。劇の間奏曲。
- *音楽朝会6件：「えんどうの花」を全員で歌う。「えんどうの花」を全体斉唱。
- *音楽発表会5件：「山の子守唄」を横笛。
- *学習発表会2件
- *全体斉唱音楽集会1件
- *卒業式1件：BGM
- *宮良長包音楽集会1件：年間行事計画の中に「宮良長包集会」を入れ、船蔵公園の宮良長包碑前にて全児童で集会を持った→「えんどうの花」合唱、「大だか子だか」音読、高学年による長包先生の生い立ち説明、ゲストをお呼びしての歌の鑑賞
- *地区学校1件：横笛も入れて発表。
- *道徳の授業参観1件：「汗水節」

【表4-②】 地域行事の場 発表の機会

幼稚園

- *北丘まつりにも参加予定
- *敬老会
- *村民音楽祭に参加した時に歌、器楽合奏で披露したことがある
- *敬老会で安里屋ユンタをエイサー
- *地域の祭での舞台発表

小学校

- *「えんどうの花」の石碑があるため、いろいろな場で歌う機会が多い
- *敬老会で「えんどうの花」を合唱
- *公民館祭り少年少女合唱祭、那覇市文化協会音楽劇「宮良長包」出演（首里少年少女合唱団）
- *カジマヤーのパレード鼓笛演奏
- *入植記念祭で「安里屋ユンタ」をエイサー

【表4-③】 その他 発表の機会

幼稚園

- *保育の中でおやつ・弁當時のBGMに使用
- *岡山県と姉妹園の取り組みをしている為、招待を受けた岡山の音楽祭の参加曲として披露した
- *体育館活動や夏まつり、おまつりごっこ等で安里屋ユンタを踊る

小学校

- *モーニングコンサート（老人会との交流コンサート）で、全体合唱として歌う
- *宮良長包音楽祭で校歌を演奏
- *毎月1回の朝の音楽習会で、11月に山の子守唄、えんどうの花の曲を予定しています
- *全校で音楽朝会

取り入れていない理由	※複数回答	
	幼稚園(200件/割合)	小学校(167件/割合)
その他	10 (5.0%)	13 (7.8%)
時代に合わない	1 (0.5%)	1 (0.6%)
共感得られず	4 (2.0%)	0
教育的意義	3 (1.5%)	5 (3.0%)
使いづらい	11 (5.5%)	4 (2.4%)
他に優先あり	20 (10.0%)	9 (5.4%)
活用事例	③ 27 (13.5%)	4 (2.4%)
指導力不足	④ 23 (11.5%)	16 (9.6%)
時間配分	7 (3.5%)	② 33 (19.8%)
長包音楽をよく知らない	② 35 (17.5%)	④ 17 (10.2%)
ゆとりなし	11 (5.5%)	① 41 (24.6%)
教材・資料	① 48 (24.0%)	③ 24 (14.4%)
賛同得られず	2 (1.0%)	0
保護者・地域のニーズ	0	0

長包音楽接点	※複数回答	
	幼稚園(件)	小学校(件)
⑫その他	7	19
⑪接点ない	7	4
⑩覚えなし	1	10
接点ない, 記載なし他	15	33
⑨評伝・作曲集	14	27
⑧ CD・DVD	19	22
⑦演奏会で聴いた	38	53
⑥映画で鑑賞	9	23
⑤ラジオ・テレビ	52	37
メディア的接点	132	162
④先輩・知人	26	22
③地域の人	20	18
②学校で	84	63
①家族から	39	27
人的接点	169	130

長包音楽の感想	幼稚園（304件 / 割合）	小学校（264件 / 割合）
①なつかしい	③ 74 (24.3%)	③ 54 (20.5%)
②温かい	① 91 (30.0%)	① 85 (32.2%)
③親しみやすい	55 (18.1%)	46 (17.4%)
④旋律が美しい	② 76 (25.0%)	② 74 (28.0%)
⑤独創的	8 (2.6%)	5 (1.9%)
⑥古い	3 (1.0%)	4 (1.5%)
⑦親しみにくい	0	1 (0.4%)
⑧難しい	11 (3.6%)	6 (2.3%)
⑨その他わからない	4 (1.3%)	8 (3.0%)
⑩記載なし	9 (3.0%)	3 (1.1%)

【表8】「宮良長包音楽を学校教育に取り入れる必要性」がわからない理由（抜粋）

幼稚園

*家庭や教育現場が積極的に取り入れるようにすれば、結果として受け入れられ残ると思う
 *宮良長包の音楽に興味を持っている若い世代が少なすぎる *聴く機会ない *若い世代にはなじみがないのではないかと思う *色々なジャンルの曲があるので心のどこかで聞いたことがある、教えてもらった、と思えるように保育で生かしていく *昔はよく歌われていたとは思いますが今は聞かれなくなった *受け入れられるかどうかはわかりませんが、必ず宮良長包の曲に触れ、成長していくと思う *子ども達にも馴染みが薄く、取り入れるのは難しい *保育園、幼稚園、小学校で保育等に取り入れれば受け入れられ続けるでしょう *私たち世代は周囲がよく口にし、歌ってきた。現在若い母親がTVなどの歌しか歌わない為、その後が不安である *めまぐるしい情報化の時代難しいと思います

小学校

*世代というより、環境によって左右されると思う *現代風なリズムや楽器でアレンジしたものを聞いて、興味を持った時、原曲にも興味がわくのではないのでしょうか *一部の子（部活）で合唱してみたがやや抵抗があったような… *分からないが受け入れられるようにしていかななくてはいけないのではないのでしょうか *指導者が意図的に指導すれば興味を持ってくれる子もいるだろうが、接点がないと厳しい *流行歌、歌手がどんどん入れ替わる今日、なかなか受け入れてもらえない部分もあるが、郷土の作曲家であり郷愁を誘う作品も多いので教育現場で触れさせる必要がある *私自身がよくわかっていないので *「えんどうの花」は歌いやすいが、難しいメロディーが多い印象です *長包音楽を身にする機会をつくっていけば自然に受け入れられるとは思う